

## 船舶事故等調査報告書

平成21年10月29日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2008那第2号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成20年8月24日 00時30分ごろ	
発生場所	鹿児島県徳之島町母間港外 (概位 北緯27°48.2' 東経128°59.3')	
事故等調査の経過	平成20年10月1日、本事故の調査を門司地方海難審判理事所那覇支所から引き継ぎ、調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	漁船 大正丸、4.9トン	
船舶番号、船舶所有者等	ON3-09795（漁船登録番号）、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	キールに擦過傷、舵頭軸の曲損、船底外板のブラケット取付部損傷	
事故等の経過	本船は、船長1人が乗り組み、船首約0.4m、船尾約1.4mの喫水で、母間港沖を自動操舵により航行中、船長が居眠りに陥り、平成20年8月24日00時30分ごろ、母間港外の浅瀬に乗り揚げた。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南西、風力 4、視界 良好 海象：うねり あり、波高 約2m	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、母間港外を自動操舵により航行中、操業の疲れと睡眠不足により、船長が居眠りに陥ったものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が母間港外を自動操舵により航行中、船長が居眠りに陥ったため、母間港外の浅瀬に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	